

# はちおうじ子ども議会新聞

## 子ども議会開催される!

### 七つの委員会から提案

#### 市長、教育長から誠意ある答弁

去る八月三十一日(日)、三か月にわたる活動の成果として、はちおうじ子ども議会が行われた。

この日出席した子ども議員は四十一名(一名欠席)。黒須市長、石川教育長、田中・岡部両副市長、市の部長職や市議会議員、保護者をはじめとする百三十九名もの傍聴者の拍手に迎えられ、堂々と議員席に着席した。

黒須市長の挨拶「私は今日はワクワクしている。いつもの議会の場所だが今日は特別緊張をしている。」

子ども議会は皆さんが主役となつて八王子の未来を考えるもの。

単に子どもの意見を大人が聴くと言う場ではない。八王子の未来を背負う子ども達が、自分のまちがこうなつたらもつとよくなるんじゃないか、あるいは自分もこんなことをやってみようということを出し合つて、大人も子どもと一緒にいっしょに八王子をいっしょに考えていく機会。」で開会。



「子どものしあわせ課をつくらう!」



答弁をする黒須市長

ホームページ はちおうじ子ども議会  
http://www.city.hachioji.tokyo.jp/fukushi/14601/index.html

12月12日  
金曜日  
第4号

発行 八王子市こども家庭部  
八王子市議会  
編集 はちおうじ子ども議会事務局  
こども家庭部子どものしあわせ課  
〒192-08501  
東京都八王子市元本郷町 3-24-1  
電話 042-620-7391



はちおうじ子ども議会

### 子ども議員 委員会提案

委員会名	発言題目
みんなの遊び場委員会	みんなの遊び場について
緑の学校委員会	地球温暖化の防止策として、学校に緑のカーテンや屋上庭園をつくらう
エコバッグ推進委員会	エコバッグを推進しよう
たかんこう委員会	高尾山を活かして八王子をPR
Greenever City委員会	Greenever Cityをめざして
子どものしあわせ委員会	「子どものしあわせ課」をつくらう
八王子交通委員会	自転車専用道路の設置について

子ども議員は七つの委員会に分かれて市に提案を行った。すべての提案に市長、教育長が自ら丁寧な答弁を行った。  
特に印象的だったのは「子どものしあわせ委員会」による「子どものしあわせ課をつくらう」の提案。これからは子どもの目線で子どもの施策を考えられるよう、こども政策課を子どものしあわせ課に変えるという答弁だった。一番驚いたのは提案した子ども議員たちだけに違いない。  
市長は議会の終わりに(提案については)すぐにできることはすぐやる。少し難しいと思うものは、真剣に考え、できるだけ提案に沿えるように努力を重ねていきたいと思う。そして皆さんが大人になった時、子ども議会の時に提案したことが実現して、八王子のまちが良くなったと思ってもらえるように頑張る。」と挨拶した。

## 11月2日には報告会を開催

11月2日(日)には北野市民センターのホールで、子ども議会による市民向け議会報告会が行われた。

子ども議員と学生サポーターによる子ども議会の活動報告の後、「八王子市こども育成計画」の後期計画を策定する「こども政策推進協議会」の会長、副会長へ、子ども議会正副議長から提言書が手渡された。この提言書は、今回各委員会から出された提案の中から、こども育成計画に関わるものを後期計画策定に反映してもらえるようまとめたもの。

協議会会長からは「協議会として十分に検討して皆さんの考えを活かしていきたい」とのコメントもあった。



本会議終了後、黒須市長と



市長、協議会会長らと学生サポーターで

#### 学生サポーターの感想

子ども議会に取り組むため、一年半の研修と活動を続けてきた学生サポーターたち。ここではあるサポーターの感想文を紹介します。

「私が東京にきた意味」

あつという間の1年だった。初めはなんとなく始めた学生サポーター。今となつては私の居場所になつている。約1年前から子ども議会の準備を始め、今年の夏の合宿。私は子どもたちを引っ張っていきけるのか不安だった。この合宿は私にとって一生忘れられない思い出となった。まさか1日目の夜の反省会で泣いてしまうなんて。ほかの班がワークショップを終え、意見もまとまり始めているのに、私の班は意見も出さず、まとまる気配すらなかった。自分の力の無さに呆れた。夜の反省会で、仲間達に相談した。みんな自分の班のこのように親身になってくれ、夜中の3時まで付き合ってくれた。次の日の班活動の時も気にかけてくれた。

学生サポーターで知り合えた仲間みんな尊敬できるかけがえのない仲間だと思つた。この経験は私が東京に出てきた意味にもなつた大きな活動となつた。

